

看護学雑誌 第50巻 総目次

1986年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

特集

患者を守る看護の役割を考える

人間性の回復運動としての〈患者の権利〉宣言：本誌編集室，1，26.

患者の権利に関する資料——ベス・イスラエル病院‘患者としての権利’／アメリカ病院協会による患者の権利宣言／日本病院会‘勤務医師マニュアル’／患者の権利宣言起草委員会（日本）‘患者の権利宣言（案）’，1，28.

“患者の権利”，看護婦とのかかわり：石川操，1，33.

日常の中に見る患者の権利：小林美智子・佐藤幸子・佐藤治代・金仁淑，1，38.

患者の療養上の世話に対する看護者の社会的責任——褥創をめぐる看護婦の責任：松村悠子・佐藤洋子，1，42.

死の権利——“No Code Blue”を選んだ患者を看護して：小林明子，1，49.

嫌いな患者——内なる苦手意識の克服

なんとなく苦手だった彼女たち——婦人科病棟での女たちとの出会いから：大沼れい子，2，147.

医は想い，しなやかに，そして少しばかりしたたかに：小笠原望，2，153.

なぜか憎めない患者さん：楨本益恵，2，161.

‘好きな患者，嫌いな患者’を授業に導入して——個性豊かな看護婦の育成を目指す：氏家久美子，2，166.

苦手な人とかかわりを通して自己の成長をみる：桑島明子，2，174.

苦手な人が苦手でなくなる時——精神科看護の現場から：伊藤シズ子，2，178.

よりよい外来看護のために

外来診療相談の経験から：名和志保子，3，267.

内科外来における看護上の問題点と看護婦が果たす役割：杉山記末子・宮本昭子，3，273.

救急看護の充実を図るための学習とその成果——よりよい外来看護を目指して：野村眞喜子・黒田朱美・山田由利江・竹下輝枝・田中郁子・鳥山貴代子，3，279.

外来看護のあり方を考える——アンケート調査を行なって：安城まさ子・長滝政枝・松田礼子・平野澄子，3，286.

業務分析からみた外来看護の現状と今後の課題：佐藤和子，3，289.

新人を迎える——受け入れる側，受け入れられる側

新人教育における先輩後輩の関係樹立——エルダー制度を導入して：西元勝子・山内好子・北野敬子・松本千香・竹重由佳美，4，387.

新設医大病院での新人教育——婦長の立場から：割石富美子，4，393.

先輩看護婦による自主的な後輩指導を目指して：下川広子・鈴木恵子・長岡幸子・梅宮紀子，4，399.

地域中核病院での新人教育：大河原温子・佐々木千鶴子・上野朱実・五代悦子・小金沢洋子・鬼形佐与子，4，405.

苦しみの共有を経て成長の喜びを——救命救急センターでの新人教育：中村恵子・関敬子・鷹背幸恵・小野塚元子・佐原久恵・下小牧トモ子・当間利津子・豊川美保子・平越直子，4，409.

新しい職場でのチャレンジ——病棟からホームケア相談室への勤務となって：木下由美子・和田妙子，4，415.

私の新人時代——みどりさんの場合：川島みどり，4，421.

老人脳卒中患者の社会復帰に向けて

老人という名を失ったもの：奥川幸子，5，507.

主介護者と患者との人間関係を考慮に入れた，退院指導のかかわり：安藤フミ子，5，512.

患者の自立と家族の受け入れ態勢調整への援助：片山恵美子，5，518.

移動動作表を活用した脳卒中患者の早期社会復帰を目指して：長谷川真美子・古賀さとみ・岡本千代・渡辺政子・永瀬富美子，5，523.

より円滑な家庭復帰をするための家族指導のあり方を考える：堤下秀子・中村恵子・田中小枝子・神田春江・松元イソ子，5，531.

廃用性萎縮を来した片麻痺患者の自力坐位，坐位移動動

作の確立を目指して：久保洋子，5，536.

口から食べたい——経口摂取への援助

嚥下自立への援助：田中靖代，6，627.

嚥下障害患者の経口摂取への援助——急性期施設での取り組み：染谷初重・仙福成子・大淵幹子・吉田由美・北川洋子・大岡良枝・小澤美恵子，6，635.

長期経管栄養患者の嚥下機能回復への働きかけ——脳梗塞患者の経口摂取援助：下田天授美・桂下恵子，6，641.

食えることは生きること——仮性球麻痺により重度の嚥下障害を来したI氏の経口摂取を目指した援助：雨宮久子・長田純子・上川真由美，6，646.

神経難病患者の在宅での経口摂取援助：川村佐和子，6，651.

食への想い，家族の想い——先天性筋ジストロフィーのわが娘を看取って：小高遵子，6，657.

海外の文献から／脳卒中患者の嚥下訓練：ヘンリー・ハイムリッチ，6，662.

患者にとってのよいナースでありたい

看護婦はまずベッドサイドへ——患者体験を持つ医師の立場から：新村明，7，747.

患者にとって良い看護婦とは？——教師として患者家族として：人間川清子，7，752.

疾病について患者について関心を持ってほしい——患者がナースに求めるもの：島田広子，7，757.

プロフェッショナルナースであるために——3か月目をむかえたあなたへ：長谷川浩，7，763.

患者さんを自分の鏡と心得て——婦長からスタッフへ：古川敦恵，7，768.

自律した専門職業者としての自覚を——プライマリ・ナースに必要な条件：山本あい子，7，773.

褥瘡裁判が看護に問いかけたもの

看護婦と医療事故：石井トク，8，867.

インタビュー／私はなぜ訴えたのか——原告の来本金次氏に聞く，8，877.

インタビュー／問われた看護の責任とは——第一審原告側証人，氏家幸子氏に聞く，8，884.

看護の発展を阻むもの——褥瘡裁判を省みて：松村悠子，8，889.

褥瘡裁判と基準看護——心の中のモヤモヤ，何か変じゃない？：長谷川美津子，8，893.

座談会／臨床現場で褥瘡を考える：大淵律子・松本幸子・戸張百合子・藤田セイ子，8，899.

夜勤——看護が試される時

夜間巡視の基準化に向けて：飯田伸子，9，987.

夜勤からの学び——内科病棟では：宮沢君子・荻野久美子，9，993.

新人の夜勤体験に接して——実践の場で看護婦としての自覚を育む：藤崎民子・福元正子・沓野康恵・河崎佳子，9，998.

事例を通して夜勤看護を考える——病棟ごとに異なるそれぞれの‘大変さ’：田辺チドリ・飯野よし子・金子京子・斎藤ひろ江，9，1004.

ある晩，眼科病棟で——眼科病棟での夜勤看護を考える：川畑公子・近藤玲子，9，1011.

夜勤と子供たち：大久保ミチル，9，1017.

夜間実習を通しての学び：海江七海子，9，1022.

夜勤時の病棟管理——当直婦長の立場から：加藤奈智子，9，1026.

鼎談／夜勤の辛さと面白さ：二戸幸子・内布敦子・関文子，9，1029.

危機状況にある患者の理解と看護の役割

喪失と悲嘆——危機のプロセスと看護の働きかけ：小島操子，10，1107.

子供の死を宣告された時，母親は……——患者家族に現われた悲嘆反応とその回復過程：渡部英子・石川勝美・金子りつ子・熊谷久子・小池初枝・佐藤秀子・高野あさ子・田辺サナエ・松本京子・和田真弓・竹尾恵子・南沢汎美，10，1114.

腎不全！病名を知った時，患者は……——患者の潜在的苦悩をどうとらえるか：稲葉由子・佐藤民子・藤代悦子・佐藤晴美，10，1120.

自分は悪い病気であるはずがない——自分の病状が受け入れられない患者へのケア：今井陽子・江口八千代・遠藤澄江・南雲志津子，10，1128.

手術して食道がなくなった！——術後，危機状況に陥った患者への援助：安藤幸江・大越一代・杉田雅美，10，1131.

片麻痺と失語症を持った患者の場合——脳卒中患者の障害受容過程における看護の役割：北代直美・菅原和恵，10，1135.

家族の想い

夫婦で“癌と駆けっこ”——妻，慶子と共に歩んだ3年間を振り返って：刑部光太郎，11，1227.

明日には明日の生命がある——癌に倒れた夫と共に：吉見八重子，11，1238.

看護婦として，娘として父を看取って：長尾美和子，11，1245.

インタビュー／夫を癌に奪われた妻・我妻令子さんに聞く——愛すればこそ哀しみは限りなく：我妻令子・聞き手／柳原和子，11，1250.

災害！その時ナースは……——看護と防災体制

大規模病院における防災体制——看護部長の立場から：三浦規，12，1347.

消防署の望む看護婦の防火管理体制：東京消防庁指導広報部指導課，12，1355.

病院災害と多くの問題点——宮城県沖地震を体験して：佐藤之子・今泉孝，12，1363.

常に経験を生かし，そして備える——日本海中部地震を体験して：館岡陽子，12，1369.

災害対策に終わりはしない——長崎大水害を体験して：三

原茂, 12, 1374.

新生児搬出あれこれ：本誌編集室, 12, 1384.

特別論稿

職種間のより良い連携のために——医師に求められるもの, 他職種に求めたいもの：藤井博之, 2, 184.

緊急レポート・2／雨のあとの下痢で次々と人が死んでいく——エチオピアの干ばつ地帯での医療・看護活動：工藤芙美子, 3, 322.

中国看護事情その後：鈴木恵美子, 4, 434.

講演／がん患者とその家族のための精神的アドバイス：吉川武彦, 7, 779.

突然死——Sudden Death：Marjorie Ashdown, 7, 793.

闘病生活雑感——患者になって見えてきたもの：榛葉由枝, 11, 1259.

インタビュー／取材攻勢から患者を守る——日航機墜落事故‘奇跡の生存’の渦中に巻き込まれた多野総合病院の経験から, 12, 1386.

ベットサイドの看護

精神疾患患者とのかかわりに園芸・絵画を取り入れて：里中ヨオ子, 3, 301.

孤立していた長期入院患者が他の患者と交流を持つに至るまで：渡辺栄子, 5, 543.

生きぬく力はどこからか：相場佳己・越川恵美子・石井邦枝・根本志津子・有田奈緒子, 10, 1142.

短歌表現にみる精神分裂病患者の思考の広がり：焼山和憲, 12, 1394.

学生の広場

死を知る患者の精神的援助を考える——進行性筋ジストロフィー症児たちとのかかわりから：野原幸恵, 1, 63.

外食に頼る糖尿病患者への食事療法指導：高橋庸子, 1, 69.

脳性麻痺のある患児との遊びを通じたかかわり：宮本道代, 1, 74.

私の中の外来看護婦：小西裕子, 3, 294.

末期患者とのかかわり合いの中で私の得たもの：大江依子, 3, 297.

老人の服薬の現状と心理の分析：南迫順子・吉村千鶴子・溝部マリコ, 6, 671.

子宮頸癌末期患者の看護——末期症状による苦痛の緩和を試みて：茂呂光枝, 6, 674.

事例を通して振り返る患者とのかかわり——患者を“受容”し, “共感”する姿勢：上廻裕子, 8, 908.

看護における聴く行為を考える——精神分裂病患者への働きかけを通して：山田理美, 10, 1148.

患者社会復帰への援助過程での一考察：石井恵子・加瀬恵子・金子悦子・神部敦子・高見昌代・竹内悦子・馬庭恭子・駒松仁子, 11, 1264.

安楽への援助で見落としていた疾病に対する患者の不安：上田和美・金子智恵美・末広由美子・廣中恭子・松尾綾・柳原恵子, 11, 1270.

研究と報告

脳神経外科重症患者の看護記録様式の検討：田村綾子, 1, 54.

看護婦による医用電子機器の使用状況と意識調査：日本ME学会第二種ME技術実力検定試験実行委員会, 1, 58.

脳卒中患者の性生活の現状と指導についての考察：田畑さよ子・松元イソ子・川平和美・田中信行, 3, 309.

評価基準表を使用する失語症患者へのアプローチ：伊藤タカ・佐藤貞子・安原保江・江川順子・工藤良子・落海真喜枝・鈴木雅子・後藤昭子・岡田康子, 4, 427.

海外在住日系人のための健康相談開設の経験：江川隆子, 5, 548.

患者教育組織としての糖尿病教室の効果について：大野喜美子・池戸千百合・井森和子・池場妙子・川尻直子・加藤恵子・大沢順子・池戸文子・横井宏志・石黒源之・中野重男, 5, 554.

安静を必要とする妊婦のニーズをさぐる：井上都子・谷幸枝・香西悦子・国方房子・大戸薫, 6, 667.

癌化学療法患者を対象とした看護記録の向上——パンフレットの作成と看護記録のセミナーを通して：沢村のり子・高橋幸子・草野弘美・梅原ひとみ・岩垂まゆみ・新野さつき・岡田久江・増永よし子・横山貞枝, 7, 786.

ホスピスからのレポート——

続々死にゆく人々のケア：柏木哲夫

ホスピスの運営, 2, 202.

ワットさんの NEW YORK REPORT ——

BETH ISRAEL MEDICAL CENTER を

訪ねて：ワット隆子

にわか仕込みリポーター, ニューヨークへ飛ぶ——アメリカのナースはあり余るイニシアティブを持って看護婦している, 1, 79.

Always Giving! ——余命6か月以内の患者のケア専任 Miss Hammond, 2, 193.

Sense of Humor ——それはこの仕事で生き残るための秘訣, 3, 313.

Passively Addicted ——‘薬中毒’ママから産まれるベビー, 4, 439.

Patient Representative ——患者の苦情を代弁します, 5, 558.

ベス・イスラエルの女親分, Mrs. Rose Muscatine Hauer, 6, 678.

自立のための援助——

セルフ・ヘルプ・グループに学ぶ：久保紘章

セルフ・ヘルプ・グループって何だろう, 7, 799.

仲間がいたからこそ——アルコール依存と‘断酒会’, 8, 919.

病氣と仲良く, そして心しなやかに生き生きと——リウマチ友の会, 9, 1038.

「治すのは自分自身です」——ぜんそく友の会, 10, 1158.
「一言でもいい, 自己を表現しよう」——〈ユーテ・サークル〉の主宰者, 喜田清さんに見る自立への歩み, 11, 1278.
共同治療者としての親——〈真言の会〉に見る親と関係者とのパートナーシップ, 12, 1398.

癌と駆けっこ: 刑部慶子

手術までのこと, 1, 84.
手術, 2, 198.
癌宣告, 3, 318.
抗癌剤治療, 4, 444.
入院生活, 5, 564.
教会へ, 6, 684.
静養中の日々, 受洗まで, 7, 804.
束の間の日常生活, 8, 924.
腸閉塞の発病と直腸癌の再発, 9, 1044.
再び抗癌剤治療, 10, 1164.
一番苦しかった時期, 11, 1284.
目下闘病中, 12, 1404.

和漢診療の実践: 寺澤捷年

いまなぜ, 漢方か?, 1, 90.
漢方薬と和漢薬, 2, 210.
‘気’‘血’‘水’の話[1]—— 気について, 3, 330.
‘気’‘血’‘水’の話[2]—— 気のうっ滞と逆流, 4, 450.
‘気’‘血’‘水’の話[3]—— 血について, 5, 570.
‘気’‘血’‘水’の話[4]—— 血の滞り・瘀血について, 6, 690.
‘気’‘血’‘水’の話[5]—— 水と水滯, 7, 810.
病因と表裏, 8, 930.
陰陽と虚実・寒熱について, 9, 1050.
太陽病期の治療について, 10, 1170.
少陽病の治療について, 11, 1290.
陽明病の治療について, 12, 1410.

ぼけの臨床: 井上修

ぼけの症状[8], 1, 94.
ぼけの症状[9], 2, 214.
ぼけのいろいろ[1]—— 老年痴呆, 脳血管性痴呆, 3, 334.
ぼけのいろいろ[2]—— 初老期痴呆(アルツハイマー病, ビック病, クロイツフェルト・ヤコブ病), 4, 454.
ぼけのいろいろ[3]—— 硬膜下血腫, 甲状腺機能低下症, 下垂体前葉機能低下症, 一酸化炭素中毒, 仮性痴呆, 5, 574.
ぼけの治療, 6, 694.
ぼけの看護—— ぼけの老人に接する際の基本的な姿勢, 7, 814.
ぼけと社会, 8, 934.

病む人々へのカウンセリング: 白井幸子

カウンセラーに求められる基本的態度[3]—— カウンセ

ラーはクライアントの責任を引き受けてはならない, 1, 102.
カウンセリングの方法[1]—— 傾聴について, 2, 222.
カウンセリングの方法[2]—— どうすれば良い聴き手になれるか, 3, 342.
カウンセリングの方法[3]—— リフレーミング, 4, 462.
カウンセリングの方法[4]—— リフレーミングの実践, 5, 582.
カウンセリングの方法[5]—— ‘気づき’について, 6, 702.
カウンセリングの方法[6]—— ‘気づき’は病む人々にどのように役立つか, 7, 822.
カウンセリングの方法[7]—— 生体エネルギー法について, 8, 942.
カウンセリングの方法[8]—— 生体エネルギー法の実践, 9, 1062.
カウンセリングの方法[9]—— ゲシュタルト療法について, 10, 1182.
カウンセリングの方法[10]—— ゲシュタルト療法の実践, 11, 1302.
カウンセリングの方法[11]—— 精神統合(サイコシンセシス)について, 12, 1422.

POS をナースに: 中木高夫

データベースを考えるとときの合言葉・‘看護のためのデータベース’[2], 1, 98.
データベースを考えるとときの合言葉・‘看護のためのデータベース’[3], 2, 218.
データベースを考えるとときの合言葉・‘看護のためのデータベース’[4], 3, 338.
データベースを考えるとときの合言葉・‘看護のためのデータベース’[5], 4, 458.
正しいプロブレムを見つけるにはもっと勉強しなくっちゃ! [1], 5, 578.
正しいプロブレムを見つけるにはもっと勉強しなくっちゃ! [2], 6, 698.
正しいプロブレムを見つけるにはもっと勉強しなくっちゃ! [3], 7, 818.
さあプロブレムリスト。これでやっと“プロブレムごとに”ができる, 8, 938.
初期計画は3つに分けて。とりあえずは治療計画(ケア計画), 9, 1058.
初期計画の書き方, こんなふうにはしてはいいが, 10, 1178.
看護計画は実施されない運命にあるなんて, ちょっと言いすぎかな, 11, 1298.
オイシャサマってナースと一緒に記録する幸せを知らない!, 12, 1418.

高齢化社会の福祉と医療を考える: 木下康仁

高齢化社会をどう考えるか, 9, 1054.
老人とはだれのこと?, 10, 1174.
‘生活’の場としての‘老人ホーム’とは[1], 11, 1294.
‘生活’の場としての‘老人ホーム’とは[2], 12, 1414.

ここまできた日本の医療

リハビリテーションにおけるバイオフィードバック療法
——千野直一・慶応大学医学部講師に聞く, 1, 4.
癌の全身温熱療法 ——加藤信夫・名古屋記念病院特殊治療科部長に聞く, 2, 124.
小児のCAPD療法 ——酒井糾・北里大学医学部助教授に聞く, 4, 364.
HPN, 家庭でできる静脈内高カロリー輸液 ——真島吉也・千葉大学医学部講師に聞く, 5, 484.
PTCA, 経皮的冠動脈拡張術 ——清水陽一・狭山病院循環器科部長に聞く, 6, 604.
ランニングとスポーツ医学 ——高澤晴夫・横浜市立港湾病院整形外科部長に聞く, 7, 724.
Electronic Endoscope ——井戸健一・自治医科大学消化器内科講師, 吉田行雄・同助手に聞く, 9, 964.
衝撃波腎結石破砕法 ——横山正夫・虎の門病院泌尿器科部長に聞く, 10, 1084.
培養皮膚 ——塩谷信幸・北里大学形成外科教授, 吉里勝利・同助教授に聞く, 11, 1204.
クラニオフィェイシャルサージャリー ——酒井成身・聖マリアンナ医科大学形成外科助教授に聞く, 12, 1324.

DECISION MAKING IN NURSING ——

こんなとき、あなただったらどうします？

負けパターンに歯止めをかけよう ——予測通りの悪い方向へと事態は流れていく：本誌編集室, 1, 10.
何も言わなければ何も変わらない ——患者迷惑な医師と看護婦のスレ違い, 2, 130.
最後の力を振りしぼって訴えたSさんのささやかな願い, 3, 250.
かくも長き看護の不在 ——ナースコールの多いAさんに看護婦は……, 4, 370.
看護の真価が問われる痛みの看護：稲垣明美, 5, 490.
Sさんの急死は予期できなかったのか：浦田喜久子, 6, 610.
もし家族のだれかが突然亡くなったら：川島みどり, 7, 730.
なぜか不満が残ったターミナルケア, 8, 850.
頼られすぎてしまった看護婦の困惑：山田京子, 9, 970.
“患者中心の看護”は単なるお題目か？：村松静子, 10, 1090.
あなたは、患者への‘しよよせ’に気づいているだろうか：中川英子, 11, 1210.
‘援助’と‘強制’を取り違えてはいないか ——自立へのリハビリテーション看護を考える：長谷川美津子, 12, 1330.

NURSING THEORY ——看護理論ってなあに？

前口上「看護理論！ あんた、私のなんなのさ！」：本誌編集室, 1, 14.
「あなたにはあなたの、わたしにはわたしの……」——看護理論家会議に参加して：高橋照子, 2, 134.
看護理論書への接し方[1]——看護理論にもいろいろあ

りまして：松本和歌子, 3, 254.
看護理論書への接し方[2]——‘理論を知る’ってどういうこと？：松本和歌子, 4, 374.
“パースィ看護理論”を読む[1]——パースィ博士のすべで：高橋照子, 5, 494.
“パースィ看護理論”を読む[2]——人間科学を基盤とした看護学独自の理論：高橋照子, 6, 614.
“パースィ看護理論”を読む[3]——看護の基盤を問い直そうという人への誘い：高橋照子, 7, 734.
“パースィ看護理論”を読む[4]——“健康を一生きる人間”理論の意味するもの：高橋照子, 8, 854.
“パースィ看護理論”を読む[5]——“看護を受ける人”のための看護理論：高橋照子, 9, 974.
ゆきづまったときこそ理論を：中西睦子, 10, 1094.
“ロジャーズ看護理論”を読む[1]——ロジャーズ理論なんてきらい：中西睦子・黒田裕子, 11, 1214.
“ロジャーズ看護理論”を読む[2]——ここがロジャーズ理論のユニーク性：中西睦子, 12, 1334.

WORD SCAN

発癌物質：根本信雄, 1, 24.
コンプライアンス：篠田知璋, 2, 144.
産業看護：奥井幸子, 3, 264.
ホリスティック・ヘルス：江口篤寿, 4, 384.
トランスファー・テクニク：三好春樹, 5, 504.
芸術療法：徳田良仁, 6, 624.
心磁図：森博愛, 7, 744.
ソーシャルサポート：南裕子, 8, 864.
ストローク：杉野元子, 9, 984.
DDS (Drug Delivery System)：水島裕, 10, 1104.
アタッチメント：横尾京子, 11, 1224.
代用児症候群：西村昂三, 12, 1344.

NURSES' VIEW

人間工学的な見方の看護への適用を：牧子智恵子, 1, 25.
いま新たな登り口に立って：雨宮久子, 2, 145.
外来看護の新たな役割：鹿渡登史子, 3, 265.
緋寒桜：四辻笑子, 4, 385.
尊いいのちにふれながら：佐藤幸子, 5, 505.
看護業務にコンピュータを導入して：近石恵美, 6, 625.
リハビリテーションは心のふれ合いから！——老人の生活リハビリテーション講座を受講して：大谷靖子, 7, 745.
固定チームナーシングに参加して：山本由美, 8, 865.
看護婦を一休みして思うこと：寺田富子, 9, 985.
プライマリ・ナーシングを導入して：後藤桂子, 10, 1105.
無理のない人と人とのつながりを：葭田美知子, 11, 1225.
学際的視点から看護を見直す——よりよい看護のために：新鞍真理子, 12, 1345.

われらカンゴ族

母・水河三保子さん、娘・奈緒美さん、1, 1.
姉・浅田光子さん、妹・文子さん、2, 121.
母・酒匂春枝さん、娘・由美子さん、3, 241.
姉・東條妙子さん、妹・森倉明代さん、4, 361.
母・眞田清子さん、娘・知子さん、5, 481.
長谷川正志さん、洋子さん、6, 601.
姉・金子淳子さん、妹・前田裕子さん、7, 721.
母・大竹喜代子さん、娘・千織さん、8, 841.
夫・秋山幸長さん、妻・恵子さん、甥・秋山智さん、姪・由美子さん、9, 961.
姉・石橋すみ子さん、妹・米山きみ子さん、10, 1081.
鈴木博之・尚子さん、奥村弘次・京子さん、中平文明・善子さん、11, 1201.
母・竹内彌生さん、娘・充美さん、12, 1321.

グラフ

看護婦は患者のソバが良い——病院をあげて‘ナースはベッドサイドへ’に取り組む篠ノ井病院の看護、1, 18.
慢性腎不全患者のCAPD自己管理への援助——神奈川県衛生看護専門学校付属病院でのCAPDの継続看護、2, 138.
雨が降り、大地に緑は戻った、しかし……——エチオピアの干ばつ地帯での医療・看護活動は続く、3, 244.
傷は泥にまみれ、多くの人はひどい感染症を起こしていた——コロンビアの火山噴火による被災者救援のため日赤医療班が派遣される、3, 258.
モノに表われた精神——第3回国際リハビリテーション専門機器展示会：望月彬也、4, 378.
入院時から退院指導を始める——家族とともに脳卒中のリハビリテーションをすすめる、5, 498.
新都心に新しい医療の中心——新病棟に移動した東京医科大学病院、6, 618.
いま、スポーツ医学に注目、7, 738.
中国看護事情見えてある記——国をあげて看護のレベルアップを目指す：本誌編集室、8, 844.
中国看護事情見えてある記——最先端の医療を誇る中日友好医院、8, 858.
学生祭、うちらの場合！——高松赤十字看護専門学校第21回学生祭、9, 978.
障害者の障害者による障害者のための福祉施設——全国スモンの会曙光園が示唆する〈中間施設〉の1つのカタチ、10, 1098.
病院から離れ、緑の中で療養生活——4年目を迎えた湖南病院グリーンホスピス、11, 1218.
備えあっても憂いあり!?——聖マリアンナ医科大学付属病院における防災訓練、12, 1338.

SCOPE

健康科学の確立を目指す——日本健康科学学会第1回学術大会開かれる／1985年度エイボン教育賞に林富美子氏、土田セイ氏、1, 16.
看護理論家会議開かれる、2, 136.

「彼らの温かさに、すごく励まされるんです」——大阪・釜ヶ崎でドヤの医療・生活相談員として活躍する入佐明美さん、3, 256

コンピュータによる看護業務援助・実践編——第1回看護情報システム研究会、4, 376.

嵐の前の静けさ——引越を直前に控えた東京医科大学付属‘新病院’を訪ねて、5, 496.

世界看護指導者会議開かる、6, 616.

看護婦独自の手による在宅看護サービス事業がスタート、7, 736.

聖路加国際病院にわが国初のETスクールが開校、8, 856.

在宅看護研究センターの設立が投じた波紋——“これからの看護を語り合う集い”に看護婦40名が参加、10, 1096.

第1回国際看護教育草津セミナー開かれる／3年目を迎えた‘老人看護月間’、11, 1216.

みさと健和病院第3回病院祭、12, 1336.

ちょっと一言——総婦長のつぶやき

ハイテク時代：青木孝子、1, 89.

言葉を大切に：前野敏子、2, 209.

光、灯、戴帽式に思う：西岡敏子、3, 329

激動から安定へ——息子の子育てを見ながら思う：斎田トキ子、4, 449.

笑顔を忘れずに：川辺延子、5, 569.

看護界に想う：森表つや子、6, 689.

自主性を尊重して：塩澤洋子、7, 809.

雑草の中に：古旗征子、8, 929.

‘愛’に思う：溝口アツ子、9, 1049.

手のぬくもりと柔らかさ：樫葉由枝、10, 1169.

遊び心を育てましょう：高橋章子、11, 1289.

難あり、有り難し：小島通代、12, 1409.

PROFILE

〈奥井幸子〉働く者の健康管理一筋に27年——「今は、疾病予防より健康づくりです」、1, 111.

〈深川理和子〉卵巣癌、術後10か月——「今生きているんだ、と自然に思えてきます」、2, 231.

〈島田頼子〉“和漢看護マニュアル”を作る——「漢方水を楽しみながら飲めるようなケアをしたいですね」、3, 351.

〈糸永幸子〉院内ターミナル学習会の世話役——「末期患者に対する基本姿勢ができていませんでした」、4, 473.

〈入佐明美〉大阪・釜ヶ崎で医療相談にあたる——「共に生きるということは、こういうことなんだなあと思います」、5, 593.

〈江平幹子〉『いのち燃ゆの詩』を仲間と出版する——「病と闘って一所懸命生きている人を紹介したいと思って」、6, 713.

〈桐生禮子〉オストメイトの患者会を応援する——「今では患者会の人たちから恩恵を受けるようになりました」、8, 953.

〈Kathleen Ann Paton〉マンリー病院（オーストラリア）
手術室婦長——「メスを握る医師にとって最も怖い存在」, 9, 1071.
〈此村由美子〉東京民医連看護雑誌『明日への看護』を編集
——「出来上がった時の満足感は何とも言えませんね」, 11, 1313.
〈鈴木和美〉《交流舎》の事務局長——「精神科看護状況の
変革をめざす心やさしき看護師」, 12, 1431.

ニューヨークのナースィングホームから：吉田冬子

ナースィングホームの住民たち, 1, 106.
失禁物語, 2, 226.
死についてのケア, 3, 346.
ナースィングホームの看護助手, 4, 466.
ナースィングホームの看護婦たち, 5, 586.
したたかに生きる, ちょっとボケた人たち, 6, 706.
徘徊ナンバーワンを競う人たち, 7, 826.
看護に期待する人, しない人, 8, 946.
粗食を楽しむ老人たち, 9, 1066.
カンファレンスで充電, 10, 1186.
オリエンテーション, 11, 1306.
レジャーと生きがい, 12, 1426.

老景十二話——〈老い〉の中に世界が見える： 三好春樹・三好京

すれ違う会話でも, 1, 115.
靴をはく, 2, 235.
適応力が弱い?, 3, 355.
自己中心的になる?, 4, 475.
笑う, 5, 595.
妬く, 6, 715.
呆け, 7, 832.
床ずれ, 8, 951.
呆け(その2), 9, 1075.
帰る, 10, 1195.
食べる, 11, 1314.
左マヒ, 12, 1430.

BOOK REVIEW

患者ケアを中心とした新しい放射線看護（国立がんセン
ター放射線科病棟編）：手嶋操, 1, 108.
患者自立への援助——運動機能障害のある患者を中心に
（都留伸子編）：国分アイ, 1, 109.
新刊紹介／「日本のターミナルケア—末期医療学の実践」
「生と死の医療」「生と死の境界—医学・法律・倫理から
みた諸問題」, 1, 110.
目で見える周産期看護——新生児を中心として（竹内徹・
横尾京子著）：早田幸子, 2, 228.
現代社会にあえぐ子供たち（並木正義編集）：中村元子,
2, 229.
老い——貧しき高齢化社会を生きる（田邊順一著）：井
山寿美子, 2, 230.
親と子のきずな（M.H. Klaus, J.H. Kennell 著, 竹内徹,
柏木哲夫, 横尾京子訳）：吉武香代子, 3, 348.

思春期—その行動と発達のすべて（B.R. マッキヤンド
ルズ, R.H. クープ著, 林謙治監訳）：藤原美幸, 3,
349.
新刊紹介／「難病と保健活動」「英米の老人ケア」「踊り
でリハビリ」, 3, 350.
看護チームの育成と運営（西元勝子, 杉野元子著）：川
島みどり, 4, 468.
見えない死——脳死と臓器移植（中島みち著）：中村恵
子, 4, 469.
ルポルタージュ日本の幸福——生命かがやく日のために
（斎藤茂男編著）：谷田輝恵, 4, 470.
新刊紹介／「ナースとストレス」「絵で見る操体」「セル
フ・ヘルプ・グループの理論と実際」, 4, 471.
小児看護基準Ⅰ——業務, 書類, 保育, 処置, 検査介助
編（神奈川県立こども医療センター看護基準検討委員
会編）：西元勝子, 5, 588.
医療・倫理・医師（品川信良著）：鈴木美恵子, 5, 589.
生命と倫理について考える（厚生省健康政策局医事課
編）：飯田加奈恵, 5, 590.
新刊紹介／「手術介助手順②」「ナースのための心臓病患
者教育マニュアル」「がんと語り」, 5, 591.
老人の生活ケア——〈生活障害〉への新しい看護の視点
（三好春樹著）：山崎摩耶, 6, 708.
セックス・ウォッチング（M. ダイアモンド著, 池上千
寿子, 根岸悦子訳）：藤原美幸, 6, 709.
神経因性膀胱の診断と治療（服部孝道, 安田耕作著）：
小島通代, 6, 710.
新刊紹介／「すぐに役立つ救急看護」「一歳半・三歳児の
ことばの指導」「看護のための臨床心理学」, 6, 711.
感性の看護論——シリーズ看護の原点（近森芙美子著）
：岩井隆子, 7, 828.
健康を—生きる—人間——パースィ看護理論（ローズマ
リー, R. パースィ著, 高橋照子訳）：服部朝子, 7,
829.
文学の中の看護（清水昭美著）：高橋桃子, 7, 830.
CLINICAL NURSING（June M. Thompson 他著）：中木高
夫, 7, 831.
救急看護マニュアル（監修：小濱啓次・増本靖子, 編集
：藤井千穂・片山暁子）：溝口アツモ, 8, 948.
ストロング・メディシン（アーサー・ヘイリー著, 永井
淳訳）：谷田輝恵, 8, 949.
新刊紹介／「老いて病む人への看護」「身近な死の経験に
学ぶ」「老後—その時あなたは」, 8, 950.
外科系実践の看護マニュアル（川島みどり, 鈴木篤編
著）：松沼瑠美子, 9, 1068.
ライフサイクルからみた女性の心とからだ（D.G. Hertz,
H. Molinski 著, 石川中・赤池陽訳）：高橋慶子, 9,
1069.
新刊紹介／「整形外科用語マニュアル」「老いとボケ」
「人間の手の話」, 9, 1070.
院内感染の理解とケア（北原光夫, 川島みどり著）：飯
嶋美代子, 10, 1188.
アレルギーの話（矢田純一著）：小林桂子, 10, 1189.
新刊紹介／「麻酔の知識と患者管理」「薬物療法ハンドブ

ック」「心電図を学ぶ人のために (第3版)」, 10, 1190.
死にゆく患者と家族への援助——ホスピスケアの実際 (柏木哲夫著): 越智敬子, 11, 1308.
一万木の産声を聴いた (島一春著): 左古かず子, 11, 1309.
絵でみる血栓・止血のメカニズム (Jack Hirsh, Elizabeth A. Brain 著, 大柴進, 松尾理, 松尾武文監訳): 松本昇, 12, 1428.
新刊紹介/「臨床看護英語」「看護心理学」「状況と看護」, 12, 1429.

NEWS

昭和60年度北陸地区看護研究学会/昭和60年度九州地区看護研究学会/昭和60年度関東地区看護研究学会, 1, 112.
臨床看護学研究所第1回研修修了記念発表会/第24回全国自治体病院学会/日本保健医療行動科学会が発足, 1, 113.
第3回あけぼの会・医師とナースと患者の対話集会/第16回日本看護学会小児看護分科会, 1, 114.
難病看護研究会・在宅看護研究会公開セミナー/第40回国立病院療養所総合医学会/第20回東京看護学セミナー公開セミナー, 2, 232.
第16回日本看護学会看護総合分科会/第16回日本看護学会母性看護分科会/昭和60年度日看協東海地区看護研究学会, 2, 233.
第5回医療情報学連合大会/第5回日本看護科学学会/第9回死の臨床研究会, 3, 352.
‘自分たちの死, 納得できる死’を奪われないために——第5回脳死シンポジウム開かれる/‘寝たきり老人介護のつどい’開かれる, 3, 353.
第18回聖路加看護大学公開講座/昭和60年度第5回近畿地区看護研究学会/精神衛生講演会開かれる, 4, 472.
第13回日本集中治療学会/東京民医連第17回看護活動研究集会, 5, 592.
第8回POS研究会/第1回日本看護研究学会近畿・四国地方会/木下安子氏神経研退官記念講演会, 6, 712.
公開セミナー難病・地域ケアをめぐる成果と展望/第10回看護を考える市民と看護婦の集い, 7, 834.
昭和61年度日本看護協会通常総会/第7回脳死シンポジウム——脳死と言われたら/第8回東京ホームケア研究会公開研究会, 8, 952.
‘86国際モダンホスピタルショウ/第21回日本救急医学会関東地方会/第17回日本看護学会成人看護分科会(三重), 9, 976.
第36回日本病院学会/第17回日本看護学会成人看護分科会(秋田)/第27回日本母性衛生学会総会・学術集会, 10, 1191.
第12回日本看護研究学会総会/第17回日本看護学会成人看護分科会(宮崎)/昭和61年度日本看護協会北海道・東北地区看護研究学会, 11, 1310.
第17回日本看護学会看護教育分科会/第12回医療と教

育に関する国際セミナー/第2回看護情報システム研究会, 11, 1311.
第26回全国国保地域医療学会/第17回日本看護学会地域看護分科会/昭和61年度日本看護協会九州地区看護研究学会, 12, 1432.
昭和61年度日本看護協会東海北陸地区(北陸)看護研究学会/第1回精神保健・精神科看護に関するシンポジウム, 12, 1433.

SALON

患者さんが初めて笑った: 松井一枝, 1, 116.
付き添い婦の母: 中島ふぢ子, 1, 116.
「阿吽」の気持ちを理解して: 高津貴美子, 1, 117.
再就職の壁: 小町久美江, 1, 118.
とても大切なことを気づかせてくださったSさんに感謝: 福本美和子, 1, 118.
卒業生からの便り: 松尾光恵, 2, 236.
適切な声かけができなければ——11月号特集‘非言語的コミュニケーション’を読んで: 岩井隆子, 2, 237.
老人ホームに来てよかったと言う伯母: 荒川みつ子, 2, 238.
看護に出会えた1日見学実習: 浅野吏洋子, 2, 238.
名古屋の褥創裁判に思う: 中村元子, 3, 356.
本誌のモニター期間を振り返って: 岩井隆子, 3, 357.
死を見つめられるでしょうか: 稲見民江, 3, 358.
ある副総婦長の勇気: 佐藤吉子, 3, 359.
小町さん, 頑張ってください: 森順子, 4, 476.
私の治療になぜ休みがあるのですか: 松井一枝, 4, 476.
足裏が語る正月の帰省生活: 寺田富子, 4, 477.
中を開いてみようという気にさせる: 安永正枝, 4, 477.
普段着の看護理論を期待: 前川珠木, 4, 478.
現場にいることの‘落とし穴’: 三好京, 4, 479.
死に慣れ, 鈍感になっていた私: 松井一枝, 5, 596.
個人の幸福か種の保存か: 飯田鶴子, 5, 596.
2月号特集のタイトルは嫌いでした: 郡司悦子, 5, 598.
ナースと患者は対等ではない: 谷田輝恵, 5, 598.
人を嫌っている自分が情けない: 安永正枝, 5, 598.
子供から手の離れた女たちよ: 久保田幸子, 6, 716.
私はいったい何をしに病室へ行ったのだろう: T.O., 6, 716.
‘でも先生……’と言ってみたい: 森山和子, 6, 718.
POSやTAは合理化のため?: 大石康子, 6, 718.
外来看護婦が待ち望んでいた特集: 安永正枝, 6, 719.
我が家にも老人問題がやってきた: 辰巳淑子, 7, 836.
北国の春: 大石康子, 7, 837.
透析で生きる人, 様々: 土山逸子, 7, 837.
5年後10年後の栃木の看護が楽しみ: 郡司悦子, 7, 838.
付き添いとナースコール: 谷田輝恵, 7, 838.
誌面を通して現場を見ると……: 中村元子, 7, 839.
全人的医療を考える会の東日本春のワークショップに参加して: 加藤麗華, 8, 956.
精神病棟における事故防止: 鈴木保, 8, 956.
見えないものを見る目——近森英美子著「感性の看護論」

を読む：三好春樹，8，957.
看護者としての姿勢を振り返る刺激に：安永正枝，8，958.
私もいつか‘フリー……’に：郡司悦子，8，958.
読み応えのあった5月号でした：中村元子，8，958.
毎月ハラハラしながら読んでます：大石康子，8，959.
国立がんセンターでの4年間を振り返って：真保佳代子，9，1076.
おじいさんのつめ：野村光子，9，1076.
看護を考えることが好きである：岩井隆子，9，1077.
‘口から食べたい’に思うこと：中村元子，9，1078.
ワットさんの連載が終わって残念！：安永正枝，9，1078.
Sさんはどんな死に方を望んでいたのでしょうか：大石康子，9，1078.
グループ活動に対する看護婦の姿勢：中村満里，10，1196.
‘仕事’を‘看護’にもどすきっかけ：岩田春子，10，1197.
弟を訪ねて：森山ひとみ，10，1198.
向上心，向学心を忘れずに！：S.G.，10，1199.
‘角’があってはいけないの？：E.J.，11，1316.
ナースをめざす娘へ：越智信子，11，1316.
米国医療研修に参加して：清水紀久江，11，1316.
旅立ち：池知智津子，11，1318.
生まれ出づる権利とそれを断つ権利に思う：鈴木保，11，1318.
‘ともに在る看護’を考える：兼安久恵，12，1436.

生かされることへの喜び：大屋美穂子，12，1437.
ぼけ老人を介護するということ：松本京子，12，1438.
アナムネーゼ再考—性格，趣味：野村光子，12，1438.

TOPICS

国際がん看護協会の設立とこれから開催される第4回国際がん看護カンファレンスのご案内：柿川房子，2，206.
すべての人々の健康のために，看護のリーダーシップを——世界看護指導者会議にオブザーバー参加して：田代順子，6，677.
ナイチンゲール博物館の設立計画進む：飯島美代子，8，914.
第1回ヘルスケアシステム総合シンポジウム：長谷川美津子，11，1312.

WATCHING

“看護婦のくせに，ぼくは医者なんだよ！”——映画“白い野望”，6，688.
“おもうて，やがて悲しき……”——映画“痴呆性老人の世界”，8，915.

おしゃべりワークショップ

〔目標〕3 F病棟の詰所，廊下，器材庫の整理整頓：松江生協病院，10，1192.

● 婦長業務の基本的な考え方と具体的な方法を体系的にまとめた参考書

婦長必携

改訂第3版

新刊

大森 文子 北里学園顧問
吉武香代子 千葉大学看護学部教授・小児看護学

本書は，看護の第一線にある婦長に焦点をあて，婦長業務の基本的な考え方と具体的な方法を体系的にまとめた参考書で，各自がその業務基準を作成するための手引きとなることを目的としている。本書の初版発行から17年，第2版から8年が経過し，この間に，看護をとりまく社会は大きく変化し，看護管理にも看護教育にもさまざまな影響が及んできている。本改訂では，労働基準法の改正，男女雇用機会均等法の施行などが看護管理に直接影響を及ぼす部分を大幅に修正するとともに，図表等には最新の数値をとり入れ，また前回以後に新しくとり入れられた考え方や方法について追加し，今日的な内容とした。

● 主要内容

- ① 病院組織における看護部の位置
- ② 看護部の組織とその責任
- ③ 命令系統と意志伝達
- ④ 婦長の適性
- ⑤ 婦長と他部門職員
- ⑥ 婦長業務の実際
 - 【A】職員の管理 【B】患者看護の管理 【C】特殊看護単位における看護管理 【D】薬品・物品の管理
 - 【E】施設・環境の管理 【F】職員の教育 【G】看護教育への参加 【H】事故防止および事故発生時対策
- ⑦ 婦長の法的責任
- ⑧ 婦長の職業的成長

● B6 頁226 図14 1986 ￥1,600 丁250



医学書院

1113-91 東京・文京・本郷5-24-3 ☎03-817-5657(販売部直通) 振替東京7-96693